

中小企業経営のリスクは経営者の健康問題にあり

# 中小企業経営のリスクは経営者の健康問題にあり

## I. 経営者の健康問題

### 1. 中小企業経営者の苦悩

中小企業のためのリスクマネジメントについて話題を提供する。通常、大企業を中心に語られることが多いが、本項では「中小企業に当てはめればどうなるか」という視点を大切に、異色のリスクマネジメント論をお届けしよう。

リスクマネジメントの考え方を簡単に表せば「企業を取り巻くリスクを発見し、現実の事故につながればどうなるかを予測し、そのリスクにどのように対応するかを決断すること」である。中小企業の場合、発見・予測・決断というリスクマネジメント3段階に占める経営者の役割は大きく、経営者の姿勢がリスクマネジメントの成否を左右する。そのため、経営者の健康状態が大きなリスクとなり得る。

2009年1月にオリビエ・トレス教授がフランスの『ル・モンド』紙に「語られることのなかった中小企業経営者の苦悩」という寄稿を発表して全仏の注目を集めた。トレス教授は「中小企業における最大の資産は経営者の健康」にあると断言する。世界中で、多くの経営関連の書籍が刊行されて幅広く研究が展開されているにもかかわらず、中小企業経営者の健康という経営資産を本格的に論じたものはほとんど存在しない。この点をトレス教授は指摘する。

大企業の場合、仮に社長が死亡しても複数の候補の中から、新たな社長を選出できる。アップルですら、カリスマ創業者のスティーブ・ジョブズ氏が病死しても、株価の下げ幅は限定的であったように。だが中小企業の場合、経営者の病気や死亡が経営に及ぼす影響は甚大で、倒産にも直結する。

うつ、不眠などメンタルヘルスの問題が、大きな社会問題になっているが、企業におけるメンタルヘルスを考える場合、従業員を対象とすることが一般的で、経営者についてはほとんど語られることがない。つまり、メンタルヘルスは雇用労働者が対象となっており、経営者、特に中小企業の経営者は除外されている。

政府当局は、特に中堅企業・大企業を想定した従業員向けの対策に力を入れているため、経営者自身のメンタルヘルスに関しては触れていないのである。

### 2. タブー視されてきた経営者の健康問題を扱う

# サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している  
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。  
サクセスネットサイトにログインした後、全文を  
閲覧することができます。